

1. 事業概要

【目的】

下水道管路の維持管理に必要な複数業務をパッケージ化および複数年契約とすることで、業務の効率化及び質の向上を実現し、市民サービスの向上を図る。また、スケールメリットを活かし、発注コストの圧縮を図る。

【事業名】：下水道管路施設包括的維持管理業務委託

【履行期間】：令和6年4月1日 ～ 令和9年3月31日（3か年）

【履行場所】：中央区

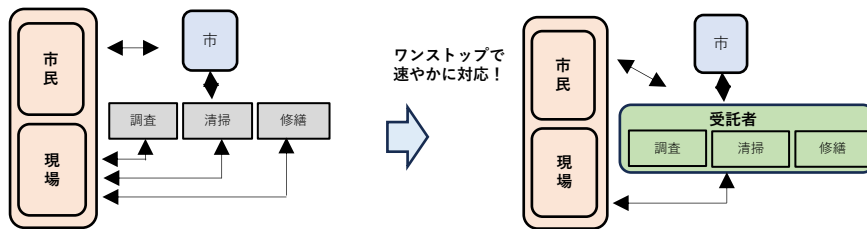
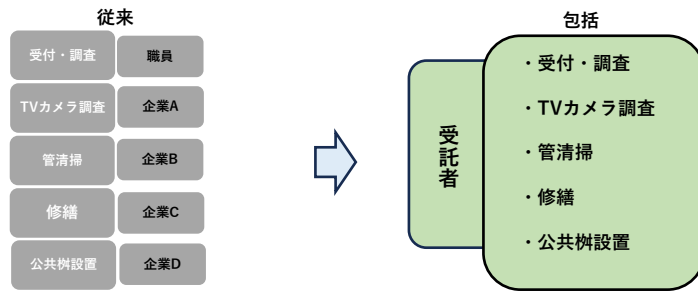
【業務内容】：統括管理業務 ⇒ 業務の一元管理、改善提案
 計画的維持管理業務 ⇒ 中長期的な点検調査
 日常的維持管理業務 ⇒ 受付→現地調査→各種対応

（管路清掃、施設修繕、公共樹設置、害虫駆除など）

【契約額】：862,626千円（債務負担）

【事業者選定】総合評価落札方式

2. 事業イメージ



3. 実施状況（現時点での効果と課題）

【効果】

- ①お客様サービスの向上
 - ⇒ 定型的な業務は受託者がワンストップで速やかに対応
- ②道路陥没等への迅速な対応（事故リスクの軽減）
 - ⇒ 通報から現場到着まで約30分
- ③一括発注によるスケールメリットの発現
 - ⇒ 複数業務を複数年契約することでコストを圧縮

【課題】

- 事務処理（精算業務）の平準化
 - ・ 四半期ごとの精算量が多く、一時的な事務量が著しく増加するため。

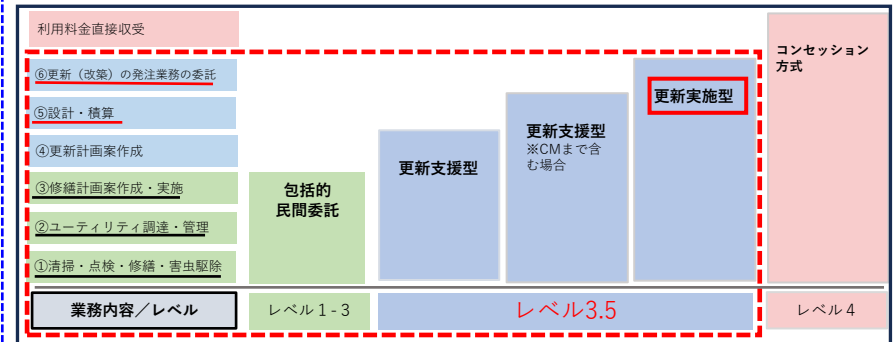
4. 今後の方針

今までの事業実施で効果が確認できたことから、次期はさらにその効果を拡大させる方針。検討対象は①業務エリア、②履行期間、③対象業務の3つ。国土交通省の「ウォーターPPPガイドライン」では、現在の下水道管路の包括委託はレベル3.0に位置付けられており、次期委託ではウォーターPPP（レベル3.5）を目指す。

【参考資料】ウォーターPPP（W-PPP）、レベル3.5とは・・・

- (1) 従来別々に委託していた業務の一本化や長期契約により民間のノウハウ・創意工夫の有効な活用を期待できる官民連携（PPP/PFI）手法の一つ。
導入することにより、上下水道が抱える課題（ひと・もの・かね）の解決策として効果が期待される。
 - (2) 管理・更新一体マネジメント方式（レベル3.5）とコンセッション方式（レベル4）を総称したものである。
 - (3) レベル3.5とは以下の4要件をすべて充足する民間委託である。
 - 【1】長期契約（原則10年）
 - 【2】性能発注
 - 【3】維持管理と更新の一体マネジメント
 - 【4】プロフィットシェア
- ※1 すくなくとも1つの処理区のすべての施設等（管路、中継ポンプ場、処理場）を対象に検討を行う必要がある。そうでない場合は客観的情報に基づいて説明する必要がある
- ※2 令和9年度からはウォーターPPPを導入していることが、一部の補助事業等（現時点においては管路改築が対象）の交付要件となる。

図 レベルの3.5 業務範囲イメージ



（国土交通省資料（下水道分野におけるウォーターPPPガイドライン第2.0版、令和7年4月）を参考に作成）

※CM（コンストラクションマネジメント）：コンストラクションマネージャーが技術的な中立性を保ちつつ、発注者側にとって設計・発注・施工段階のマネジメント業務の全部または一部を行うもの。